

ありたい姿

1. 地域の個性や特色を生かした地域づくり活動や、課題解決に向けた市民活動が活発に行われています

政策 1

市民が活躍する地域づくりの推進

関連するSDGsゴールマーク



現状

- 地域づくりを担う住民自治組織として10地域のまちづくり協議会および51の地区振興会で、地域の特色を活かした地域づくり活動が行われています。
- 住民自治の確立と自立した地域づくりを進めるため、様々な地域コミュニティ活動が行われています。
- 世帯構造が変化する中で、地域コミュニティ活動に対するニーズが多様化・複雑化しています。

課題

- 地域コミュニティ活動に対するニーズが多様化・複雑化する中で、行政による画一的なサービスだけでは限界が見えはじめています。
- 地域の個性や特色などの強みを活かし、その魅力を磨きあげるための取り組みが必要です。
- 住んでいる地域のことを一番よく知っている市民一人ひとりが、地域の将来像や課題を共有することが必要です。
- 持続可能な地域づくりを行う担い手が不足しています。

施策計画

1. 協働による地域づくりの推進

- まちづくり協議会、地区振興会および行政区並びに地域の各種団体等を中心とした地域づくりの取り組みを支援し、協働して地域づくりを推進します。
- 地域の個性や特色を活かした活発な地域コミュニティ活動が行えるよう、地域が主体的に取り組む先進的な地域づくり事業に対して、支援を行います。

成果指標名	現状値	前期目標値
地区振興会および地域の各種団体等が主催する地域づくり活動が活発に行われていると感じている市民の割合	41.5 % (R4年度)	50.0 % (R7年度)

2. 地域づくりを担う人材の育成・支援

- 地域づくり活動を主体的に取り組む人材の育成を推進します。
- 地域づくり活動を担う人材のネットワーク構築に取り組みます。
- 市民一人ひとりが力を合わせて地域づくり活動に取り組むための意識啓発を図ります。

成果指標名	現状値	前期目標値
これまでに地域活動(ボランティア含む)に役員やスタッフ等として参加したことがある市民の割合	28.3 % (R3年度)	38.5 % (R7年度)

この政策が関連する『ありたい姿』

3. 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができます
4. 歴史と文化を認め合い、天草に誇りを持ち継承されています
8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられています
9. 市民が生き生きとやさしさにあふれた地域で暮らしています
10. 安心して子どもを産み育てられるまちができています
12. 市民との協働による安心安全なまちづくりができています
14. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われています
15. 資源の循環が図られ、快適なまちづくりが行われています

ありたい姿

1. 地域の個性や特色を生かした地域づくり活動や、課題解決に向けた市民活動が活発に行われています

政策 2

様々な分野における市民活動の推進

関連するSDGsゴールマーク



現状

- 地域社会における多様化・複雑化する課題については、行政による画一的なサービスでは十分に対応できず、NPO等の市民活動団体が新たな担い手となってきています。
- NPO等の市民活動団体は、様々な分野で多種多様な経験・知識・スキルを持ち、地域の課題解決に取り組んでいます。

課題

- NPO等の市民活動団体は人材不足や活動資金不足となっているところが多く、自立かつ安定した運営基盤の強化が求められています。
- 個人やNPO等の市民活動団体は個々の活動に留まっていることが多く、多くの人の共感を集めるための活動の情報発信や人的ネットワークの構築が必要です。

施策計画

1. 市民活動団体の運営基盤強化による活動の充実

- NPO等の市民活動団体の運営基盤の強化を図るため、組織運営・法人化などの相談体制の充実、セミナーの開催などの支援に取り組みます。
- 交流会や報告会などを通じて多様な人的ネットワークの拡大を図るとともに、新たな人材発掘の取り組みや学びの場の提供を進めます。

成果指標名	現状値	前期目標値
市民活動団体のうち、新たに法人化した団体数 (累計)	2 法人 (R3年度)	6 法人 (R7年度)

この政策が関連する『ありたい姿』

- 3. 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができます
- 9. 市民が生き生きとやさしさにあふれた地域で暮らしています
- 10. 安心して子どもを産み育てられるまちができています
- 12. 市民との協働による安心安全なまちづくりができています
- 14. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われています
- 15. 資源の循環が図られ、快適なまちづくりが行われています

ありたい姿

2. 多様性を認め合い、互いを尊重するまちになっています

政策 3

誰もが個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の推進

関連するSDGsゴールマーク



現状

- 男女共同参画に関する意識の啓発、情報の受発信、活動・交流の拠点施設として男女共同参画センターを設置し、男女共同参画を推進する団体等と連携を図りながら、男女共同参画社会づくりに向けた各種啓発事業に取り組んでいます。
- 市の各課が実施する施策において、男女共同参画の視点を取り込んだ事業展開を行うよう努めています。

課題

- 政治や行政、経済などあらゆる分野において、方針を決定したり責任ある立場への女性の登用・参画は十分には進んでおらず、男女共同参画の視点からの多様な意見が十分に反映されているとは言えません。
- 近年各地で頻発する災害においては、性別の違いをはじめ、多様なニーズや課題に対応した配慮が求められています。
- 男女共同参画が進まない要因として、長年にわたり人々の中に形成された固定的性別役割分担意識や性差に関する偏見・固定観念、無意識の思い込みなどがあります。

施策計画

1. あらゆる分野における女性の参画拡大

- 多くの女性が方針決定の場に参画できるよう人材育成に取り組むとともに、市の審議会等における女性委員の登用率の向上を図ります。
- 企業等に対するセミナー等を通して、女性の活躍推進やワーク・ライフ・バランスの理解を促進します。
- 災害時の避難所対応などに男女共同参画の視点を取り入れます。

成果指標名	現状値	前期目標値
市の審議会等における女性委員の登用率	25.5 % (R3年度)	31.0 % (R7年度)

2. 男女共同参画社会の実現のための意識改革

- 固定的性別役割分担意識や無意識の思い込みの解消に向けた啓発に取り組みます。

成果指標名	現状値	前期目標値
性別によって役割を固定してはいけないと考える市民の割合	81.8 % (R3年度)	84.0 % (R7年度)
性別に関係なく個性と能力を発揮する機会があると感じる市民の割合	22.0 % (R3年度)	25.0 % (R7年度)

分野別計画

天草市男女共同参画計画

この政策が関連する『ありたい姿』

1. 地域の個性や特色を生かした地域づくり活動や、課題解決に向けた市民活動が活発に行われています
3. 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています
5. 良質な農林水産物が生産され、産地力（生産者数×量）が維持・向上されています
6. ひとづくり・ものづくりで郷土にやりがいを感じ、働ける場所があります
9. 市民が生き生きとやさしさにあふれた地域で暮らしています
10. 安心して子どもを産み育てられるまちができています
12. 市民との協働による安心安全なまちづくりができています

ありたい姿

2. 多様性を認め合い、互いを尊重するまちになっています

政策 4

互いを尊重し合う人権教育・啓発の推進

関連するSDGsゴールマーク



現状

- 天草郡市人権教育推進連絡協議会および天草人権擁護委員協議会等の関係団体、幼稚園・保育所等、小・中学校、市民および行政等が互いに連携し研修会の実施や学習の機会の提供、広報紙等の活用による人権教育および啓発に取り組んでいます。
- 関係機関等と連携し、人権に係る人材の育成や相談体制の充実を図っています。

課題

- 人権意識の高揚を図るため、あらゆる機会を捉えて人権教育研修会の実施や学習の機会を提供するとともに、市民が自らの課題として主体的に取り組めるよう人権に係る担い手の育成を図る必要があります。

施策計画

1. 人権教育および人権啓発の効果的な推進

- 「天草市人権教育・啓発基本計画」に基づき、関係団体、幼稚園・保育所等、小・中学校、市民および行政等が互いに連携・協力し、研修会の実施や学習の機会の提供、広報紙等の活用など人権教育および啓発に関する取り組みを推進します。
- 市民の人権意識の高揚と人権教育の充実を図り、様々な人権問題の解決に向けた取り組みを推進します。また、多様性を認め合い、一人ひとりの人権が尊重されるための担い手育成を目指します。
- 県や関係機関等と連携を図りながら、身近な相談体制の充実を図ります。

成果指標名	現状値	前期目標値
人権が尊重されていると感じる市民の割合	43.7 % (R3年度)	51.7 % (R7年度)

分野別計画

天草市教育振興基本計画、天草市人権教育・啓発基本計画

この政策が関連する『ありたい姿』

1. 地域の個性や特色を生かした地域づくり活動や、課題解決に向けた市民活動が活発に行われています

ありたい姿

2. 多様性を認め合い、互いを尊重するまちになっています

政策 5

ともに認め合う多文化共生社会の実現

関連するSDGsゴールマーク



現状

- 国際交流推進員を配置し、多文化共生および国際交流の取り組み推進のため、国際理解講座などを行っています。
- 外国人総合相談窓口の開設や日本語教室を開催するなど、居住外国人への支援を行っています。
- 米国エンシニータス市と姉妹都市提携、韓国忠清大学校と官学協同に関する協定を結び、学生の派遣受入れの交流を行っています。

課題

- 市内全域に様々な国籍、在留資格の外国人が居住しており、細やかな外国人支援サービスを届けることが困難な状況にあります。
- 外国人も地域社会を構成する一員、対等な関係の市民という意識を誰もが持つことが必要です。
- 国際感覚豊かな人材育成が必要です。
- 国際交流の取り組みに広く市民が参画できる仕組み・環境づくりが必要です。

施策計画

1. 多文化共生の推進

- 国籍や文化の違いを認め合い、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進します。
- 外国人総合相談窓口の各支所設置により、相談体制等の充実を図り、外国人が住みやすい生活環境の充実を図ります。
- 外国人の日本語を取得する場として、また、外国人とのコミュニケーションの場として、日本語教室の拠点開催を進めます。

成果指標名	現状値	前期目標値
外国人居住者が天草での生活に満足している割合	73.0 % (R3年度)	81.1 % (R7年度)

2. 国際化に対応した人材育成

- 姉妹都市や連携大学等との交流を通じたグローバル人材の育成に取り組みます。
- 市民の国際交流活動を支援します。

成果指標名	現状値	前期目標値
国際交流事業への参加者数（累計）	285 人 (R3年度)	855 人 (R7年度)

この政策が関連する『ありたい姿』

3. 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができます
4. 歴史と文化を認め合い、天草に誇りを持ち継承されています

ありたい姿

3. 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができます

政策 6

子どもたちの学びの充実

関連するSDGsゴールマーク



現状

- 家庭と連携して、生きる力の基礎を育む教育に取り組んでいます。
- 「誰一人取り残さない学びの保障」を掲げ、確かな学力の向上に取り組んでいます。
- 授業の中で積極的にICTを活用し、わかりやすい授業づくりに取り組んでいます。
- 教育課程特例校の認可を受け、小学校1年生から外国語科学習に取り組んでいます。
- 地域の歴史や文化、豊かな地域資源（人・もの・事）に実際に触れ、関わり合う体験的な学習を行っています。
- 学校運営協議会など、家庭や地域と連携した教育活動を進めています。また、幼稚園、保育所等、小、中学校の連携や交流活動に取り組んでいます。
- 特別な支援が必要な児童生徒に対して、特別支援学級や通級指導教室において個に応じた適切な指導を行っています。
- いじめ・不登校問題の解消・未然防止に向けて、関係機関と連携しながら取り組んでいます。
- 各種研修会や研究指定校の取り組みなどにより、教職員の指導力向上に努めています。
- 小・中学校および公立幼稚園施設は、天草市学校施設個別施設計画および毎年の点検結果に基づき、営繕やトイレ改修工事等を計画的に行っています。
- 学校における食物アレルギー基本方針に基づき、食物アレルギーへの対応を行うなど、安心・安全な給食を提供しています。
- 熊本県の県産牛肉等学校給食提供推進事業と天草市の活力ある天草の水産業づくり事業を活用し、小・中学校および公立幼稚園の給食に市内で生産される食材を提供しています。
- 共同調理場の営繕や改修工事および調理器具の更新を計画的に行っています。

課題

- 未来を担う子どもたちを育てるため、その「資質・能力」を家庭や地域と共有し、連携・協働した教育活動を推進していく必要があります。
- 子どもたちが、課題に主体的に立ち向かい、他者と協働して学びを深めていくことができるような授業改善が必要です。
- 授業におけるICTの効果的な活用を推進するとともに、児童生徒の情報活用能力の育成が必要です。
- グローバル社会を見据え、外国語によるコミュニケーション力の向上が必要です。
- 幼稚園、保育所等、小、中学校の連携を充実し、それぞれの発達段階を踏まえた教育活動や円滑な接続を進めていく必要があります。
- 特別な支援が必要な児童生徒に対して個に応じた適切な指導を行う必要があります。
- いじめ・不登校問題の解消に向けた取り組みの充実が必要です。
- 教育内容の多様化やICTの普及に伴い教職員研修や指導方法の研修、実践的研究を計画的に行う必要があります。
- 小・中学校、公立幼稚園および共同調理場の長寿命化とバリアフリー化等により安全・安心な教育環境の実現を図る必要があります。
- 少子化が進み、園児、児童、生徒数が減少しており、少人数に対応した取り組みが必要です。

施策計画

1. 未来を担う子どもたちの育成

- 未来を担う子どもたちを育てるため、その「資質・能力」を家庭や地域と共有し、連携・協働した教育活動を推進します。
- 授業を子どもたちの側から構想し、学習活動の充実を図る授業改善に取り組みます。
- 主体的・対話的で深い学びへとつながるICTの効果的な活用、児童生徒の情報活用能力の育成や外国語教育の充実を図ります。
- 地域の歴史や文化、豊かな地域資源（人・もの・事）に触れる体験的な学習活動等、地域とともにある特色ある学校づくりを進めます。
- 幼児期の終わりから小学校入学、また小学校卒業から中学校入学への「円滑な接続」に向け、それぞれの発達段階を踏まえた教育活動の取り組みを推進します。
- 特別な支援が必要な児童生徒に対して個に応じた適切な指導を行います。
- いじめや不登校などについて、心のアンケート等の定期的な調査の実施や中学校に心の教室相談員を配置し、児童生徒や保護者、教職員からの相談体制の充実とともに、個に応じた居場所づくりに取り組みます。
- 人権教育や道徳教育の充実により、生命の尊さや平和の尊さなどの普遍的な人権を大切にする取り組みを推進するとともに、一人ひとりの違いを認め合い、お互いを大切に思う心情や態度の育成を目指します。
- 教育内容の多様化やICTの普及に対応するため、計画的に研修を実施し、児童生徒の学習指導など指導方法の向上に取り組みます。

成果指標名	現状値	前期目標値
全国学力・学習状況調査の全国平均正答率を上回る項目数	2/4 項目 (R3年度)	4項目すべて (R7年度)
中学3年生のCEFR A1レベル(英検3級相当)以上の取得率	28.5 % (R3年度)	40.0 % (R7年度)
学校を楽しんでいる児童・生徒の割合	93.7 % (R3年度)	96.2 % (R7年度)

2. 教育を支える環境づくり

- 小・中学校および公立幼稚園施設については、計画的に修繕・改修等を行い、学べる環境づくりを推進します。
- トイレ改修、バリアフリー化等を計画的に進め、過ごしやすいと感じる学校づくりに取り組みます。
- ICT機器等の導入の検証を行い、計画的に更新を進めます。
- 園児、児童、生徒数の減少に対応した公立幼稚園、小・中学校の今後の在り方について、調査・研究を進めます。

成果指標名	現状値	前期目標値
学校を過ごしやすいと感じる児童・生徒の割合	80.0 % (R4年度)	83.9 % (R7年度)

3. 学校給食の充実

- 学校における食物アレルギー基本方針に基づき、食物アレルギーへの対応を行うなど、安心・安全な給食を提供します。
- 地元生産者や関係機関と連携し、市内で生産された季節感ある食材を使用した給食を提供します。また、学校給食で使用した天草産食材の情報をお知らせし、家庭での食育から地産地消へつなげていきます。
- 共同調理場については、計画的に修繕・改修等を行い、安定した給食を提供します。

成果指標名	現状値	前期目標値
品目ベースの地産地消率（天草産食材の品目）	22.7 % (R3年度)	25.8 % (R7年度)

分野別計画

天草市教育振興基本計画

この政策が関連する『ありたい姿』

1. 地域の個性や特色を生かした地域づくり活動や、課題解決に向けた市民活動が活発に行われています
4. 歴史と文化を認め合い、天草に誇りを持ち継承されています
8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられています
10. 安心して子どもを産み育てられるまちができています
14. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われています

ありたい姿

3. 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができます

政策 7

学びの発見と人材を育成する大学との連携

関連するSDGsゴールマーク



現状

- 大学等が持つ人的・知的資源を活用し、多様化・複雑化する地域の課題解決や地域を担う人材の育成に取り組んでいます。
- 専門的な分野において、連携事業に取り組んでいます。
- 大学教授等の専門的な知見を活かし、各種審議会等の委員への登用を行っています。
- 高校卒業後は、約9割が進学や就職のため市外へ転出しています。
- 大学の設置又は誘致に向けた調査・研究に取り組んでいます。

課題

- 人口減少や少子・高齢化が進み、地域の産業やまちづくりを担う人材が不足しており、持続的な地域づくりに困難が生じることが予測されます。
- 大学等と連携して行う講座等を「学びの場」として、その意義を伝え、より多くの参加者を募る必要があります。
- 専門的な知識や技術を習得する機会が少ない状況にあります。
- 大学進学等を目指す人は市外に転出せざるを得ない状況にあります。

施策計画

1. 大学と連携した人材育成と専門的支援

- 大学等との協働による専門的な分野の調査・研究を進めます。
- 各種審議会等の委員に専門的知見を持つ大学教授等の登用を推進します。
- 地域課題の解決や新たな価値を生み出す産・学・官の連携方策の検討に取り組みます。
- 大学等との連携により市民の「学びの場」の確保と「学ぶ人」の確保に努めます。
- 大学の設置又は誘致に向けて調査・研究に取り組みます。

成果指標名	現状値	前期目標値
大学等との連携により取り組んでいる事業数 (累計)	6 事業 (R3 年度)	18 事業 (R7 年度)

この政策が関連する『ありたい姿』

1. 地域の個性や特色を生かした地域づくり活動や、課題解決に向けた市民活動が活発に行われています
4. 歴史と文化を認め合い、天草に誇りを持ち継承されています
14. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われています

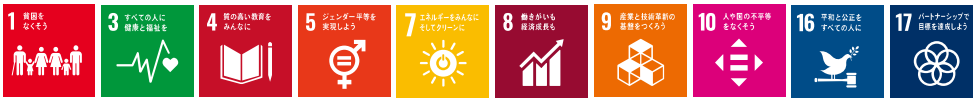
ありたい姿

3. 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができます

政策 8

生涯にわたる学びの推進

関連するSDGsゴールマーク



現状

- 市民のニーズや地域の特色を活かした公民館講座など学びの機会を提供しています。
- 市立図書館など生涯学習の拠点機能を活かし、読書活動の推進を図っています。
- 青少年の健全育成に関する情報提供および家庭教育講座等の開催による意識啓発に取り組んでいます。
- 様々な知恵や特技を持つ人材を発掘し、子どもたちの学習支援および地域行事、郷土芸能などを伝承する機会をつくり、地域と学校との連携・協働の推進に取り組んでいます。
- 社会教育施設の複合化を図るとともに、施設ごとの管理運営方針等に基づき、計画的に修繕、改修および管理運営を行っています。

課題

- 生涯学習に関して市民の関心や意欲は高いものの、参加者の固定化や偏りがみられるため、地域の身近なコミュニティセンター等を活用し幅広い年齢層に向けた公民館講座や出前講座、家庭教育講座など各種講座の周知方法を工夫し、学びの機会を提供する必要があります。
- 地域と学校との連携・協働を推進するため、様々な知恵や特技を持つ人材の発掘を行い、子どもたちの学習支援および地域行事、郷土芸能などを伝承する機会を充実させる必要があります。
- 社会教育施設の統廃合、用途廃止等も検討していく必要があります。

施策計画

1. 生涯学習の環境づくりの推進

- 市民の知りたい、学びたいなどの学習意欲を引き出し、関心の高い講座の開催などニーズに対応した学習に参加しやすい環境づくりに努めます。
- 市立図書館など生涯学習の拠点機能を活かし、読書活動の推進や学びの機会を提供します。
- 幼稚園、保育所等、小・中学校等を通じて、青少年の健全育成に関する情報提供および家庭教育支援のための講座等の実施を促し、保護者をはじめ市民の意識啓発に努めます。
- 地域と学校が連携・協働して、地域全体で子どもたちの学びや成長を支え地域の未来を担う子どもたちを育成します。
- 社会教育施設については、計画的な修繕、改修を行うことで、長寿命化を図るとともに、複合化や用途廃止等についても検討します。

成果指標名	現状値	前期目標値
生涯学習講座に参加した市民の数	8,437 人 (R3年度)	14,700 人 (R7年度)
子どもたちの学びや成長を支える活動に参加した市民の数	3,052 人 (R3年度)	3,250 人 (R7年度)

分野別計画

天草市教育振興基本計画

この政策が関連する『ありたい姿』

1. 地域の個性や特色を生かした地域づくり活動や、課題解決に向けた市民活動が活発に行われています
4. 歴史と文化を認め合い、天草に誇りを持ち継承されています
10. 安心して子どもを生き育てられるまちができています
14. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われています

ありたい姿

4. 歴史と文化を認め合い、天草に誇りを持ち継承されています

政策 9

芸術文化の振興と歴史文化の保存・継承

関連するSDGsゴールマーク



現状

- 芸術文化活動を行う団体が減少しているほか、地域によって活動に差異があります。
- 舞台発表の機会もコロナ禍で減少しています。
- 資料館や市民センター等の文化施設の老朽化が進んでいます。
- 天草市の国・県・市指定の文化財は206件ありますが、経年劣化等により修復をすべき箇所は増大しています。
- 天草島内のそれぞれの地域で歴史や文化財の調査研究を行っています。

課題

- 市民が本物の文化芸術にふれる機会を設け、芸術文化活動への関心を高める必要があります。
- 地域固有の祭りや伝統芸能等の魅力を伝承するための後継者育成が必要です。
- 文化施設の老朽化が進んでいることで、来館者の利便性の低下や、資料の適切な保存に支障を来す可能性があります。
- 保存・修復が必要な文化財の把握と、保存・修復に必要な経費の支援の充実により所有者負担の軽減を図り、文化財を保存・継承していく必要があります。
- 市内各地に点在している多数の文化財の更なる調査研究が必要です。
- 大学や他自治体と連携した広域な文化財等の調査研究体制の充実や、友好交流都市等との文化的交流を行うことで、市民が天草の文化的価値を再認識する必要があります。

施策計画

1. 芸術文化活動の推進

- 児童生徒を対象とした芸術体験教室やふれあい出前コンサート等の推進と併せて、市民シアター事業や全国で公開されている多様で豊かな芸術文化事業に、多くの市民が参加し触れる機会を増やします。
- 創造的かつ自主的な文化芸術活動を行う団体や市民芸術文化祭、伝統芸能の活動団体に対する支援を行います。

成果指標名	現状値	前期目標値
市の芸術文化事業に参加した市民数	15,933 人 (R3年度)	17,000 人 (R7年度)

2. 文化施設等の整備・活用

- 市民センター等の文化施設や天草の歴史と文化を伝える資料館の計画的な整備更新を進めることで、施設の魅力を高めるとともに長寿命化を図ります。

成果指標名	現状値	前期目標値
市民会館利用者数、資料館入館者数	159,814 人 (R3年度)	350,000 人 (R7年度)

3. 歴史文化の保存・継承

- 地域固有の祭りや伝統芸能等の記録保存と継承活動への取り組みと支援をするとともに、市民が国・県・市指定文化財に関心を持つ市民講座等の充実と、メディアやSNS等を活用した情報発信による啓発を図ります。
- 歴史資料は市の歴史・文化を伝える情報資源として、公文書館と連携し、適切な収集・選別・保存・公開に努めるとともに、市民講座や学校教育との連携等により普及啓発を行うことで市民の利活用を推進します。
- 指定文化財の維持保全に係る支援を充実し、文化財保護に対する市民の意識向上を図ります。
- 国指定史跡棚底城跡や国指定建造物祇園橋等の文化財の保存活用事業を推進するとともに、地域に所在する記録資料等についても、計画的に大学や他の自治体等と連携した調査研究体制を確立し、天草の歴史や文化を後世に継承する取り組みを推進します。

成果指標名	現状値	前期目標値
市民講座に参加した市民数	3,727 人 (R3年度)	4,100 人 (R7年度)

分野別計画

天草市文化振興計画、天草市教育振興基本計画

この政策が関連する『ありたい姿』

3. 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができます
8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられています
9. 市民が生き生きとやさしさにあふれた地域で暮らしています
10. 安心して子どもを産み育てられるまちができています
16. 豊かな自然と向き合い、保全・活用する仕組みができています

ともに学び
ともに育つまち

つながり稼げるまち

やさしさと安心のまち

自然と共生するまち

挑み続ける行政運営
取り組むまちに



ありたい姿

4. 歴史と文化を認め合い、天草に誇りを持ち継承されています

政策 10

世界遺産とキリシタン史の保存・活用

関連するSDGsゴールマーク



現状

- 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産に登録され4年が経過しましたが、コロナ禍の影響も加わり、崎津集落やキリシタン資料館（天草キリシタン館・天草コレジヨ館・天草ロザリオ館・崎津資料館みなと屋）の来訪者が減少しています。
- 崎津・今富集落は文化財保護法での重要文化的景観に選定されていますが、その特徴的な漁村・農村景観などの保全が、人口減少や廃業により厳しくなっています。

課題

- 世界遺産としての価値を持続していくため、「崎津・今富の重要文化的景観」の維持・活性化に対する支援を強化する必要があります。
- 空き家や家屋の解体が増え、崎津集落のまち並みやその特徴的な「トウヤ」、「カケ」等の保存が難しくなっています。
- 崎津集落のみでなく、今富集落にも焦点を当てた活動の推進とともに、キリスト教の伝来・禁教・潜伏・復活のストーリーをわかりやすく解説する体制づくりに努め、文化財・信心具などの調査研究により、資産の価値をさらに高めていくことが重要です。
- 長崎県の他の世界遺産構成資産との広域連携により、観光客等の周遊性を高める必要があります。

施策計画

1. 世界遺産の保存・活用

- 世界遺産を将来にわたって保護・継承していくため、世界遺産の統一メッセージである「住む人に誇りを、訪れる人に感動を」を基本理念に、市民と行政が一体となって構成資産の保存・活用や環境整備などを行い、美しく誇れる景観の保全を図ります。
- 児童生徒への学習機会の提供や、学生ボランティアガイドの育成支援により、地域の誇りと郷土愛を育み、次世代に繋げていきます。
- 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を構成する長崎県の自治体とも連携し、効果的な情報発信や、市民・児童生徒の交流機会を増やすことなどにより、周遊性の向上や交流人口の拡大を目指します。

成果指標名	現状値	前期目標値
崎津集落への来訪者数	69,101 人 (R3年度)	140,000 人 (R7年度)

2. キリシタン史の調査研究・情報発信

- キリシタン史に関する歴史資料や信心具などの収集・調査研究により、歴史的資産の価値をさらに高め、後世へ継承します。
- キリシタン資料館の収蔵資料の保存・活用や、ストーリー性と特色ある展示内容の充実、教育機関等との連携により、天草のキリシタン文化に対する市民意識を高めるとともに、その魅力を市内外に広く発信します。

成果指標名	現状値	前期目標値
キリシタン資料館4館の入館者数	45,228 人 (R3年度)	121,000 人 (R7年度)

分野別計画

天草市文化振興計画、天草市景観計画、天草市教育振興基本計画

この政策が関連する『ありたい姿』

- 3. 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができます
- 8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつけられています
- 9. 市民が生き生きとやさしさにあふれた地域で暮らしています
- 10. 安心して子どもを産み育てられるまちができています
- 16. 豊かな自然と向き合い、保全・活用する仕組みができています